

～ 収量向上により、数量払交付金でしっかり所得を確保しましょう～

- 「適期に確実な培土」で雑草抑制と収量アップ！！
- 培土後は「排水溝の再点検」で初期生育を確保しましょう。

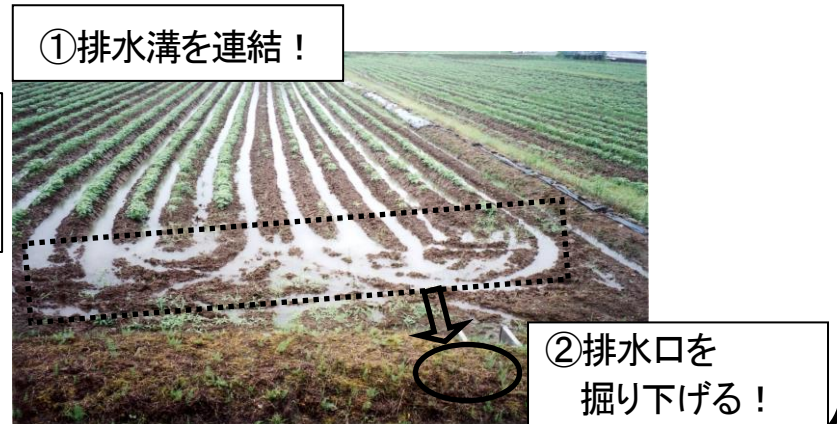
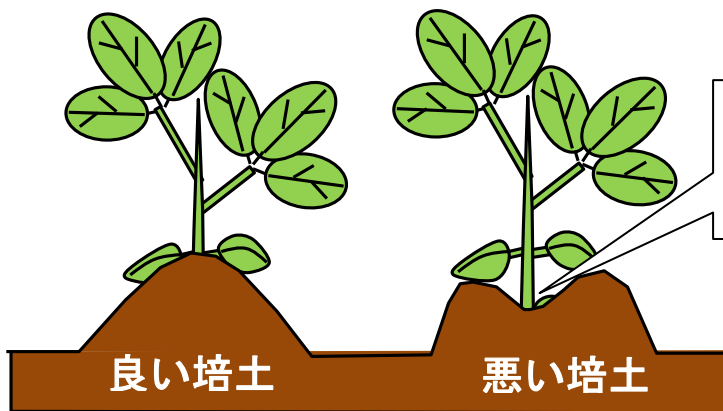
## 1. 培土 ～1回目は遅れずに、2回目は確実にいきましょう～

○培土は大豆の収量・品質を大きく左右するので、晴れ間を見て確実に実施しましょう。



### 【培土作業と排水対策のポイント】

- ◆ 作業の前に培土板の調節や耕うん爪の点検（すり減った爪は交換）を行いましょう。
- ◆ 乾いたほ場から作業を行い、株元までしっかり土を寄せましょう。
- ◆ 培土でできた溝はその日のうちに額縁排水溝や排水口にしっかり連結し、排水が速やかに行えるようにしましょう。



## 2. 除草 ～雑草の種類に応じて除草剤を散布しましょう～

薬剤名	対象雑草	10a 当たり散布量	使用方法	使用時期	使用回数
ポルトフロアブル	1年生イネ科 (スズメカビラを除く)	薬量 200～300ml (水 100ℓ で希釈)	雑草茎葉 散布	イネ科雑草 3～10 葉期 ただし、収穫 30 日前まで	1 回
大豆バサグラン 液剤	1年生雑草 (イネ科を除く)	薬量 100～150ml (水 100ℓ で希釈)	雑草茎葉 散布	大豆 2 葉期～開花前まで(雑草 6 葉期 まで)ただし収穫 45 日前まで	1 回
		薬量 300～500ml (水 100ℓ で希釈)	※ 畦間処理	大豆の生育期(雑草 6 葉期まで) ただし収穫 45 日前まで	
ロックス	1年生雑草	薬量 100～200g (水 100ℓ で希釈)	※ 畦間・株間 処理	本葉 3 葉期以降 雑草生育期(草丈 15cm 以下)ただし、収穫 30 日前まで	1 回
バスタ液剤	1年生雑草	薬量 300～500ml (水 100ℓ で希釈)	※ 畦間処理	本葉 5 葉期以降 雑草生育期 ただし、収穫 28 日前まで	3 回

※畦間・株間に処理する場合は、薬害を軽減し効果を高めるために**吊り下げノズル**を使用しましょう。帰化アサガオ類の発生が見られたら早めに抜き取りましょう。抜き取った株は、そのまま放置せず圃場外で適切に処分しましょう。詳しくは各地区営農経済センターにご確認ください。